ベガルタ仙台

コロナ禍最初のベガルタ仙台親子サッカー教室

Story

2020年は全ての人にとって、いままでの日常が日常ではなくなった年と言っていいだろう。未曾有の被害をもたらした東日本大震災が発生した2011年でさえ、Jリーグは4月23日に再開したが、2020年は7月4日までまたなければならなかった。さらにベガルタ仙台は7月8日からホームゲームが再開を予定していたが、その前にベガルタ仙台親子サッカー教室は実施することを決定した。本当に実施して大丈夫だろうか。もし何かあったら大変な責任になる。正直、実施してよいか悩んだ。しかし誰かが時計の針を進めなければ、今後のイベントの実施もうまく進まないと覚悟を決めて、関係者と感染症予防対策と万が一参加者の中に感染者が出てしまった場合の対応フローなど、実施まで打ち合わせを繰り返し、マニュアルに落とし込みなんとか実施に至った。宮城県内において2020年2月9日以来、約5か月ぶりのサッカー教室。受付時には、参加者全員が消毒、検温を行い、サッカー教室もソーシャルディスタンスを意識したプログラムを行った。今まで当たり前に感じていたサッカーボールを追いかける子どもたちの姿も、親子が触れ合う様子も、改めて幸せな光景だと実感させられた。

活動詳細情報はこちら　https://www.vegalta.co.jp/backnumber/2020/news-hometown/2020/07/post-278.html

活動場所

泉総合運動場

カテゴリー(SDGs)／取り組みテーマ

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

協働者

住民、行政

協働者名

公益財団法人　仙台市スポーツ振興事業団

© 公益社団法人 日本プロサッカーリーグ